



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 青山商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長兼営業本部長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員総合企画部長 (氏名) 山根 康一

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	55,821	4.6	1,247	59.8	1,478	56.4	4,150	
2019年3月期第1四半期	58,507	3.0	3,103	32.2	3,395	30.3	1,703	41.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,661百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 1,183百万円 (69.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	83.05	
2019年3月期第1四半期	33.86	33.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	378,329	216,731	56.4
2019年3月期	390,340	224,170	56.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 213,324百万円 2019年3月期 220,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		55.00	105.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期配当金の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭) 創業55周年記念配当 5円00銭(期末5円00銭)
2020年3月期配当金(予想)の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭)

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,400	2.7	1,900		1,300		6,900		138.06
通期	245,300	2.0	11,300	22.8	12,600	19.3	3,000	47.6	60.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	50,394,016 株	2019年3月期	50,394,016 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	414,384 株	2019年3月期	414,884 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	49,979,299 株	2019年3月期1Q	50,312,121 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2020年3月期1Q 183,200株、2019年3月期 183,700株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期1Q 183,533株、2019年3月期1Q 184,566株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第1四半期	前第1四半期	増減額	前年同期比(%)	当第1四半期	前第1四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	38,999	41,737	△2,738	93.4	859	2,563	△1,704	33.5
カジュアル事業	3,414	3,811	△396	89.6	△381	△154	△227	—
カード事業	1,319	1,285	33	102.6	587	562	24	104.4
印刷・メディア事業	3,209	2,926	283	109.7	△49	11	△61	—
雑貨販売事業	3,949	4,089	△139	96.6	220	246	△25	89.5
総合リペアサービス事業	3,201	3,206	△4	99.9	△48	△146	98	—
その他	2,761	2,450	310	112.7	54	11	42	460.0
調整額	△1,035	△1,000	△35	—	5	7	△1	72.8
合計	55,821	58,507	△2,686	95.4	1,247	3,103	△1,856	40.2

(注) セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺除去前の数値であります。

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等が懸念される状況にあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、中核事業であります、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりましたが、主に、ビジネスウェア事業の売上高及び売上総利益の減少や、カジュアル事業において、アメリカンイーグル事業の事業整理に伴う事業整理損失56億22百万円を特別損失に計上したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 558億21百万円 (前年同期比95.4%)

営業利益 12億47百万円 (前年同期比40.2%)

経常利益 14億78百万円 (前年同期比43.6%)

親会社株主に帰属する四半期純損失 41億50百万円

(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益17億3百万円)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株) ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司]

当事業の売上高は389億99百万円(前年同期比93.4%)、セグメント利益(営業利益)は8億59百万円(前年同期比33.5%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、オフィスウェアのさらなるカジュアル化などによる市場環境の変化などにより、客数の減少が続き、ビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比93.5%となりました。

なお、4月から6月までの3ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比90.7%の399千着、平均販売単価は前年同期比99.8%の27,639円となりました。

当第1四半期(4月～6月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

<ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(2019年6月末現在)>

(単位:店)

業態名	青山商事(株)ビジネスウェア事業						青山洋服商業(上海)有限公司
	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計	洋服の青山
出店(4月～6月)	0	0	0	1	0	1	0
閉店(4月～6月)	1	0	0	0	0	1	1
期末店舗数(6月末)	808	60	9	4	10	891	30

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 青山洋服商業(上海)有限公司の出店・閉店は2019年1月～3月、期末店舗数は2019年3月末の店舗数であります。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、売上高は34億14百万円(前年同期比89.6%)、セグメント損失(営業損失)は3億81百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)1億54百万円)となりました。

また、アメリカンイーグル事業の事業整理に伴う事業整理損失56億22百万円を特別損失に計上しております。

当第1四半期(4月～6月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

<カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数(2019年6月末現在)>

(単位:店)

業態名	青山商事(株)カジュアル事業	(株)イーグルリテイリング
	リバイーストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店(4月～6月)	1	0
閉店(4月～6月)	0	0
期末店舗数(6月末)	11	33

(注) 「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は13億19百万円(前年同期比102.6%)、セグメント利益(営業利益)は5億87百万円(前年同期比104.4%)となりました。

なお、2019年5月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は430万人となりました。

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、電子販促・販促物の受注増加などから、売上高は32億9百万円(前年同期比109.7%)となる一方、人件費等の経費増加などから、セグメント損失(営業損失)は49百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)11百万円)となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、店舗の閉店などから、売上高は39億49百万円(前年同期比96.6%)、また、最低賃金引き上げに伴う人件費等の経費増加などから、セグメント利益(営業利益)は2億20百万円(前年同期比89.5%)となりました。なお、2019年5月末の店舗数は113店舗(2018年5月末118店舗)であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、売上高は32億1百万円（前年同期比99.9%）、セグメント損失（営業損失）は48百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億46百万円）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（2019年6月末現在）＞

（単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～6月）	3	2	0	5
閉店（4月～6月）	5	0	0	5
期末店舗数（6月末）	315	289	43	647

（注）「オセアニア」はオーストラリア、ニュージーランド、「その他」はシンガポール、マレーシア、中国であります。

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

その他の事業につきましては、「焼肉きんぐ」等の出店などから、売上高は27億61百万円（前年同期比112.7%）、セグメント利益（営業利益）は54百万円（前年同期比460.0%）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（2019年6月末現在）＞

（単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンド ストリート	ジャンブル ストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティー	ダブルティー サーフクラブ
出店（4月～6月）	1	0	4	0	0	0
閉店（4月～6月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（6月末）	14	2	34	11	5	1

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	103,700	△1,200	△500	△2,100	△42円2銭
今回修正予想 (B)	102,400	△1,900	△1,300	△6,900	△138円6銭
増減額 (B-A)	△1,300	△700	△800	△4,800	—
増減率 (%)	△1.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	105,192	1,061	1,586	△123	△2円45銭

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	246,600	12,000	13,400	6,800	136円6銭
今回修正予想 (B)	245,300	11,300	12,600	3,000	60円2銭
増減額 (B-A)	△1,300	△700	△800	△3,800	—
増減率 (%)	△0.5	△5.8	△6.0	△55.9	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	250,300	14,629	15,611	5,723	114円32銭

ビジネスウェア事業及びカジュアル事業の業績が低調に推移したこと並びに当社連結子会社である(株)イーグルリテイリングによる日本のアメリカンイーグル事業について、米国American Eagle Outfitters, Inc. (以下、「AEO社」といいます。)との間で、AEO社へ事業譲渡を検討すること等を内容とする基本合意書を締結したことに伴い、2020年3月期第1四半期の連結業績に、事業整理損失56億22百万円を特別損失として計上したことなどから、売上高、利益ともに前回予想を下回る見込みであり、2019年5月10日に公表した2020年3月期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、中核事業であります青山商事(株)ビジネスウェア事業の既存店売上高前期比の前提は下記のとおりであります。

[青山商事(株)ビジネスウェア事業 既存店売上高前期比の前提]

上期予想 (前回発表予想)	下期予想 (前回発表予想)	通期予想 (前回発表予想)
94.5% (96.0%)	98.0% (98.0%)	96.6% (97.2%)

<今後の予定について>

日本におけるアメリカンイーグル事業の事業譲渡につきましては、AEO社と引き続き事業譲渡にむけての交渉を継続してまいります。

なお、業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,587	55,244
受取手形及び売掛金	20,317	13,673
有価証券	15,999	14,400
商品及び製品	52,342	52,495
仕掛品	1,250	1,218
原材料及び貯蔵品	1,513	1,593
営業貸付金	58,147	58,531
その他	3,282	3,675
貸倒引当金	△280	△276
流動資産合計	214,161	200,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,755	55,473
土地	38,565	38,687
その他(純額)	9,834	12,838
有形固定資産合計	104,156	106,999
無形固定資産		
のれん	9,266	8,890
その他	7,195	6,938
無形固定資産合計	16,462	15,829
投資その他の資産		
敷金及び保証金	25,425	25,299
その他	30,127	29,618
貸倒引当金	△48	△25
投資その他の資産合計	55,504	54,892
固定資産合計	176,122	177,721
繰延資産合計	57	50
資産合計	390,340	378,329
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,369	15,567
電子記録債務	17,587	18,475
短期借入金	3,100	2,500
未払法人税等	2,677	156
賞与引当金	1,776	821
その他	14,078	15,612
流動負債合計	60,589	53,133
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	62,000	62,500
退職給付に係る負債	9,901	10,053
ポイント引当金	3,072	2,977
その他	6,607	8,933
固定負債合計	105,581	108,464
負債合計	166,170	161,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,533	62,533
利益剰余金	114,074	107,164
自己株式	△1,422	△1,421
株主資本合計	237,689	230,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,901	1,550
繰延ヘッジ損益	4	△13
土地再評価差額金	△16,015	△16,015
為替換算調整勘定	△754	△1,020
退職給付に係る調整累計額	△1,989	△1,957
その他の包括利益累計額合計	△16,853	△17,457
非支配株主持分	3,333	3,406
純資産合計	224,170	216,731
負債純資産合計	390,340	378,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	58,507	55,821
売上原価	26,201	25,754
売上総利益	32,306	30,066
販売費及び一般管理費	29,202	28,819
営業利益	3,103	1,247
営業外収益		
受取利息	25	19
受取配当金	114	143
不動産賃貸料	336	336
為替差益	19	—
その他	105	92
営業外収益合計	600	590
営業外費用		
支払利息	31	62
不動産賃貸原価	257	252
デリバティブ評価損	—	12
為替差損	—	16
その他	20	16
営業外費用合計	309	359
経常利益	3,395	1,478
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	85	70
減損損失	340	8
事業整理損失	—	5,622
特別損失合計	425	5,701
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,971	△4,222
法人税等	1,166	△161
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,805	△4,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	90
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,703	△4,150

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,805	△4,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△540	△351
繰延ヘッジ損益	28	△18
為替換算調整勘定	△184	△263
退職給付に係る調整額	74	31
その他の包括利益合計	△622	△601
四半期包括利益	1,183	△4,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,090	△4,754
非支配株主に係る四半期包括利益	92	92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が3,478百万円増加し、流動負債の「その他」が1,152百万円及び固定負債の「その他」が2,355百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。